

第43回全京都障害者総合スポーツ大会開催要綱

1 目 的

本大会は、昭和56年「国際障害者年」を記念して、第1回大会を開催して以来、障害のある人々のための総合的なスポーツ大会として、毎年継続して実施するものである。

特に、昭和63年10月に行われた第24回全国身体障害者スポーツ大会(愛とふれあいの京都大会)の成功を基礎に、障害のある人々が、スポーツを通じて健康及び体力の保持増進を図り、明朗で積極的な性格を養うとともに自立と社会参加を目指し、障害のある人々相互に、また障害のない人々との連帯を深めることを目的に開催する。

あわせて、この大会を通じて地域における障害者スポーツのリーダーの養成を図り、スポーツの日常化とスポーツ活動に参加する層の拡大を図り、「国際障害者年10年」の歩みで培った「完全参加と平等」の理念の実現に寄与しようとするものである。

なお、卓球、ボッチャ、水泳、陸上競技、アーチェリー、フライングディスクの各大会においては、次年度の全国障害者スポーツ大会、また、陸上競技大会(3,000m 競走車いす使用者)においては、全国車いす駅伝競走大会の京都府、市、選手の選考会を兼ねて行う。

2 主 催

(一社)京都障害者スポーツ振興会、
京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
(一社)京都府身体障害者団体連合会、(公社)京都市身体障害者団体連合会、
(一社)京都手をつなぐ育成会、(公財)京都新聞社会福祉事業団

3 後 援

(福)京都府社会福祉協議会、(福)京都市社会福祉協議会、
(公財)京都府スポーツ協会、(公財)京都市スポーツ協会、
(公財)京都市障害者スポーツ協会、国際ソロプチミスト京都一東山、
日本赤十字社京都府支部、京都新聞、KBS京都、(一社)京都ボランティア協会

4 主 管・運営協力

京都卓球バレー協会
京都卓球協会
京都ボッチャ協会
京都水泳協会
京都陸上競技協会
京都府アーチェリー連盟
京都障害者フライングディスク協会

5 大会役員

○名誉会長 京都府知事
○名誉副会長 京都市長

- 京都府身体障害者団体連合会会長
京都市身体障害者団体連合会会長
京都手をつなぐ育成会会長
京都新聞社会福祉事業団理事長
○会長 京都障害者スポーツ振興会会長
○副会長 京都府教育委員会教育長
京都市教育長
○その他 顧問、参与、委員を置く。

6 競技種目 卓球バレー、卓球、ボッチャ、水泳、陸上競技、アーチェリー、フライングディスク

7 日程

総合開会式	令和5年6月18日(日)	島津アリーナ京都(京都府立体育館)
卓球バレー大会	令和5年6月18日(日)	島津アリーナ京都(京都府立体育館)
卓球大会	令和5年7月16日(日)	京都市障害者スポーツセンター
ボッチャ大会	令和5年8月13日(日)	伏見港公園体育館
水泳大会	令和5年8月20日(日)	京都市障害者スポーツセンター
陸上競技大会	令和5年9月10日(日)	たけびしスタジアム京都
アーチェリー大会	令和5年9月17日(日)	南丹市日吉総合運動広場
フライングディスク大会	令和5年10月9日(祝月)	京都府立丹波自然運動公園

8 新型コロナウイルス感染予防について

- ①基本的な感染対策を実施します。
 - ・着用が効果的な場面でのマスク着用
 - ・手洗い等の手指衛生、換気
 - ・「三つの密」の回避、人と人との距離の確保
- ②次の方は参加を見合わせていただく。
 - ・平熱を超える発熱がある方
 - ・咳、倦怠感、臭覚や味覚の異常があるなど体調が良くない方
- ③本大会は重症化リスクの高い方が参加されていることから、参加者には、新型コロナウイルス等感染症の感染防止対策に各自で注意していただきますようお願いします。

9 その他

- ①参加資格、競技運営その他詳細については、別に実施要項でこれを定める。
- ②全国障害者スポーツ大会の選手選考にあたっては、開催基準要綱が改正され、出場回数の制限はなくなりましたが、より多くの人に出場の機会がもてるよう従来どおり、過去に出場経験のない人の中から選考する。
- ③ホームページ、マスメディア等に写真や大会成績が掲載されることかありますので、あらかじめご了承ください。